

“ 緑化運動を県民とともに ”



鳥取県農林水産部長
谷口 興治

「森林の持つ公益的機能は75兆円」という林野庁の試算が発表されました。水源かん養、土砂流出防止、土砂崩壊防止、保健休養、野生鳥獣保護、大気保全の6つの機能を合計すると国家予算に匹敵する評価額になるのです。これは同じように公益的機能を持つ農業農村に比べて10倍以上の評価額になりますが、あまりにも大きな数字なのでピンときません。しかし、私たちが日々意識するかしんないかは別として森林が国民の生活の基礎的な基盤を維持していることは確かです。

先頃、南極のオゾンホールがいよいよ大きくなったと報道されていましたが、今では「環境」という言葉が政治的にもキーワードになり、世界的な共通語となっています。鳥取県が交流を進めている還日本海諸国との共通テーマも「環境」は「経済」とともに重要な課題になっています。地球上に現在生きている私たちは、植物や野生動物や海の魚、そして人類の生息環境について、良好な状態を再生又は維持し次の世へ引き継いで行く責任があります。

近年、鳥取県議会では「魚つき保安林」という言葉がよく聞かれます。県内各地で漁業協同組合やボランティアの人々が植林をする事例が増えてきて、とても良いことだと嬉しく思っていますが、魚と密接な関係がある、といったことに県民の関心と認識が広がったためでしょう、議員の皆さんも勉強されるようになりました。

豊かな森林はそれを生業する山村の生活を支え、美観や大気を保全し、山崩れを防止するだけでなく、農業も漁業も恩恵を受けるものだという認識が県民の間にだんだんと浸透してきています。みんなでそれをさらに盛り上げていきたいもので、その牽引役になっていただくのが緑化推進委員会です。緑化を推進する運動が分かりやすく馴染みやすい形で県民に浸透し、健全な森がさらに広がっていくよう委員会の今後の活動に期待しております。

役員理事及び監事の交替

総会（平成12年2月14日）終了以降、代表者の交替がありました。

役 名	組 織 ・ 団 体	職 名	新	旧
副理事長	鳥取県農林水産部	部 長	谷 口 興 治	多 田 理 一
理 事	鳥取県銀行協会	会 長	安 藤 賢	前 田 順之助
理 事	鳥取県町村会	会 長	下 池 忠 正	森 本 和 夫
理 事	鳥取県建設業協会	会 長	高 力 修 一	山 本 康 雄
監 事	鳥取県造園建設業協会	会 長	清 水 俊 男	谷 尾 喜 次



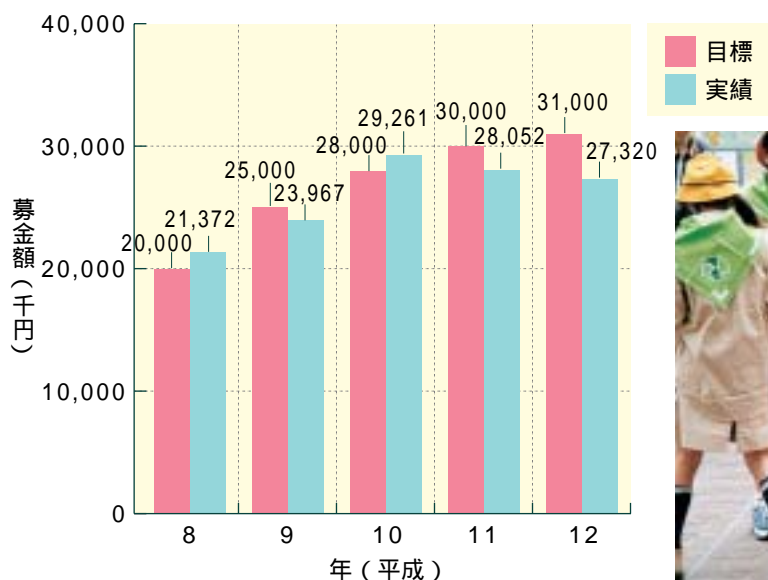
平成12年度“緑の募金”運動

- 募金運動期間 春期 平成12年3月27日～5月31日
秋期 平成12年9月1日～10月31日
- 募金目標額 31,000千円

今年は緑化運動も50周年という節目の年であり、企業・家庭・各種団体等へ積極的な緑化の大切さ、募金への協力の呼びかけに努めました。

又、街頭では、緑の少年団等の協力のもと鳥取駅及び米子駅前において、理事長ほかボランティア(自治会・婦人会等)によるキャンペーン活動を行いました。

緑の募金年度別推移



H12年4月



駅前での緑の少年団による街頭募金

緑の募金状況

平成12年8月末現在

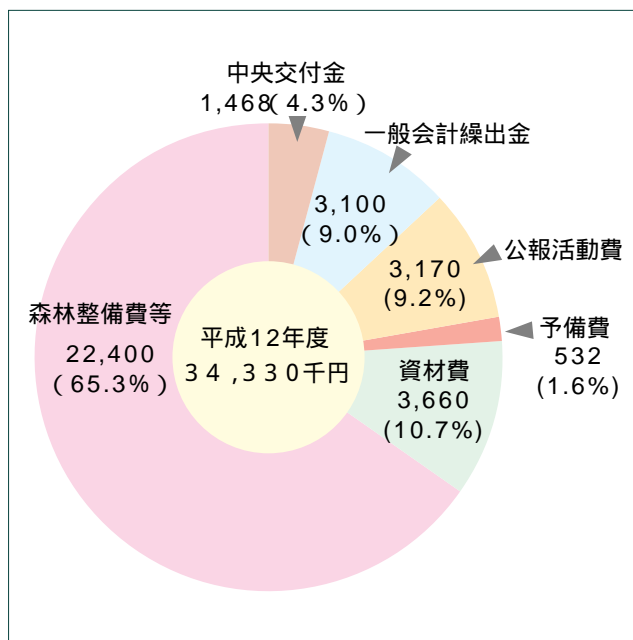
区 分	平成11年度実績		平成12年度(春)		伸 率 B/A × 100
	金額(A) 千円	比率%	金額(B) 千円	比率%	
街 頭	729	2.6	1,086	4.0	149.0
学 校	3,284	11.7	2,678	9.8	81.5
家 庭	14,943	53.3	14,781	54.1	98.9
企 業	2,007	7.2	1,264	4.6	63.0
職 場	5,897	21.0	6,479	23.7	109.9
そ の 他	1,192	4.2	1,032	3.8	86.6
計	28,052	100.0	27,320	100.0	97.4

5万円以上の募金協力者 個人・企業・団体（学校・官公庁・自治会・婦人会等は除く）

- 300千円以上 鳥取三洋電機（株）
- 100千円以上 鳥取県農業協同組合中央会、（株）山陰合同銀行
鳥取地区管理連絡協議会
- 50千円以上 長石暢二、米子信用金庫、（株）鳥取銀行
全国農業協同組合連合会鳥取県本部米子事業所

この他心温まる多くの皆様の御協力をいただきました。ありがとうございます。

募金の使途（募金特別会計決算見込）



こんなに**大きく**なりました

昭和44年ヒノキ植樹



明治100年記念植樹
倉吉市福積「青少年研修の森」

昭和43年サクラ植樹



明治100年記念植樹
鳥取市円護寺「十神林道」の並木

森林整備費等事業の内訳

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 森林の整備 | 6,000千円 |
| ● 森林づくりの促進 | |
| ● ボランティア活動の支援 | |
| 2. 緑化の推進 | 2,000千円 |
| ● 募金記念植樹 | |
| ● 地区緑化イベントの推進 | |
| 3. 地区緑化推進事業
（39市町村交付金） | 14,000千円 |
| 4. 国際緑化への協力 | 400千円 |

事業紹介

たのしみながらのボランティア活動

森っ子倶楽部の活動（森林整備事業）

森っ子倶楽部は、平成11年5月森林づくりの自主的なボランティア団体として自立し、県内各地で下刈、除伐、枝打、間伐作業等現在238名の会員を用し、活発な活動を展開しています。

平成12年度活動状況

第1回 平成12年6月24日（土）中山町松河原（県造林公社地内）下刈作業

第2回 平成12年7月22日（土）・23日（日）

第1日目 倉吉市河来見（県造林公社地内）間伐作業

第2日目 潮町神倉（中津国有林地内）下刈作業

第3回 平成12年9月12日（火）鳥取市安蔵（鳥取市行造林地内）除伐作業

特に第2回目は、交流集会をかねた1泊2日の作業で、奈良県のグリーンボランティア奈良クラブから8人の応援を得て間伐作業に汗を流し、夜は地元のかじか蛙保存研究会も加わって交流会を実施し、各クラブの活動状況・課題等を話し合い、今後も緑の大切さをはだで感じ、長い目でじっくりと活動を続けていくことを誓った。

今後の活動計画

10月7日 森林のめぐみ感謝祭育樹活動への参加

11月上旬 枝打作業 日野郡江府町俣野

11月下旬 県内の林業施設等の視察・研修



H12年6月 中山町内での下刈作業



H12年7月 倉吉市内での間伐作業

“ 会員を募集しています ”

地区緑化のイベントの推進（緑化の推進）

●気高町（緑線活性化委員会）

“ 誰もが歩いてみたくなるような、緑あふれる並木道を造りたい！ ”

そんな想いから地域の次代を担う青年が、「**気高町緑線活性化委員会**」という組織を創り、その呼び掛けに呼応し、地元人たちはもとより、気高町役場、鳥取地方農林振興局、鳥取県緑化推進委員会の支援のもと、去る3月18日、晴れ渡った青空の下、町道沿線において手作りの植樹祭を実施しました。

この組織の中心となって世話をしているのが、奥田博之さん、水田大さんです。2人は都会の生活から数年前、家業を継ぐため、地元気高町に帰郷しました。

地元に戻って強く感じたことは、“ 町が沈んで見えた ”ということです。これではいけないと想いを同じくする若者が集まり、何か自分たちに出来ることはないかと考え話し合いました。その結果、緑あふれる並木で地域の人々が交流でき、更には他地域の人でも気軽に歩ける緑の多い路を造ろうと計画し、この組織を作りました。

活動の経過

- 2月15日 緑化の専門家に相談し、緑化木の植え付け・管理の勉強会。
- 2月20日 緑線活性化委員会発足（20名）沿線住民に協力の要請呼掛。
- 3月14日 間伐材を利用した木製看板の作成。
- 3月18日 地域住民外の参加を経て、幹線町道沿線に「かしわ」の木を植える植樹祭の実施。
- 3月25日 緑線新聞VOL.1 発行。（年5回発行）
- 4月20日 緑の募金箱を各商店の店頭に設置。JR浜村駅前で街頭募金活動実施（7名）
- 5月20日 植樹木の管理のため、害虫防除作業、草取作業実施（13名）

【今後の取組】

誰もが歩いてみたくなるような町の環境造りをめざしています。

又、地域の活性化のための夏祭り、土曜夜市、イベントのスタッフ等にも加わり活動しています。



H12年3月 町道沿線に「かしわ」の木を植える手づくりの植樹祭

●モンゴル（児童来県）育樹を通じた国際交流

7月28日に、環日本海国際子供文化交流会事業で来県したモンゴル国中央県の児童達12名が、鳥取県モンゴル中央県親善協会の主催で出合いの森の“環太平洋の森”に植えられたモンゴルの木「シネス（カラマツ）、アカマツ」の下草刈りと園内の落枝を利用した木工教室をホームステイ先の県民家族達と共に楽しみました。

草原の国モンゴルに森は少なく、育林作業は生まれて初めてのことで、除草をしなければ木が枯れてしまうことを聞いて、驚いていましたが、モンゴルで木材は貴重品ですから作業が必要なことを納得していたようです。

暑い日で、夏でも30度を越すことのない中央県の子供達は、さっそく覚えた“アツイ”を言いながら、ホームステイ先の子供達と一緒に除草作業をがんばり、木工教室では昼食を取る時間を惜しんで夢中で壁掛けを作りました。

今後、モンゴル国内での植林活動など、緑化を通じた国際交流を推進し、環太平洋の他の国々へ拡大したいと思います。



育樹を通じて国際交流



モンゴル児童との交流

市町村紹介コーナー

●倉吉市 募金の還元で緑化活動（地区緑化の推進）

倉吉市における「緑の募金」運動は、市内小学校・中学校・高等学校の協力による学校募金と街頭募金、各自治公民館・婦人会等による家庭募金、市内企業の協力による職場募金を中心に実施しており、毎年200万円を超える募金額を達成しています。

また、緑の募金交付金による緑化事業についても、各団体において、植樹事業をはじめ枝打ち・下草刈り作業の実施、花の植栽事業、その他花壇コンクール・花づくり教室・自然探索会の実施等に積極的に取り組んでいます。

その他、助成事業についても積極的に活用し、昨年は「シンボル森林利活用促進事業」として、地域のシンボリック森林の整備促進を図ろうと、四王寺山の林道沿いの樹木に地元住民の手で樹名板を設置したり、「森林づくり事業」として、高城財産区のスギ品種展示林に標柱・案内板の設置及び森林組合・地元小学生を交えた森林整備作業（間伐材の集積等）を実施しました。

今後も、緑の募金を通じて、市民と行政が一体となって市内全域の緑化の推進に取り組んでいきたいと考えています。



間伐林の集積作業

緑の少年団交流集会（みどりの少年団育成事業）

と き 平成12年 8 月 7 日（月）～ 9 日（水）
ところ 東伯郡赤碕町 鳥取県立船上山少年自然の家

○米子市立車尾小学校 濱田 和己先生

「先生、今年も交流集会ありますよね。」

毎年、楽しみにしているようで、子供達から希望の声があがるようになってきました。

普段は校地内の植物の世話、緑の羽根募金、グリーンマーク集めなどの活動をしていますが、生きた自然に触れられるということで、今年も参加させていただきました。

参加した子どもに聞いてみると、いろいろな学校の友達とはげまし合った登山が一番心に残ったようです。大自然の中で鳥の声を聞き、きれいな空気をすい、心も体もリフレッシュできました。子どもたちも緑のすばらしさを実感できたようです。このような集会を開いてくださり、本当に感謝しています。

次は、私たちの番です。交流集会で実感した緑のすばらしさを微力ながら守り育てていきたいと思います。まずは、2学期以降、子どもたちとともに緑化にはげみたいと思います。



船上山登山に挑戦

楽しい野外炊飯



この緑の少年団は、県内に61団5500人の団員を持ち、地域や学校で緑化活動等を通じ、心豊かな人間形成をめざす自主的な団体です。

平成13年度計画

と き 平成13年 8 月 1 日（水）～ 3 日（金）
ところ 大山町赤松 鳥取県立大山少年自然の家

緑の少年団の皆さまの参加をお待ちしております。

事務局だより

平成11年度「国土緑化・育樹運動ポスター原画コンクール」

出品点数.....小学生 45点 ・ 中学生 277点 ・ 高校生 0点

入選者は次の方です。

区 分		学 校 名	学 年	氏 名
小 学 校 の 部	県 知 事 賞	倉吉市立北谷小学校	6	山 根 恵
	県 教 育 長 賞	境港市立外江小学校	5	清 水 智 子
	県緑推理事長賞	北条町立北条小学校	2	山 本 かりん
中 学 校 の 部	県 知 事 賞	組合立箕蚊屋中学校	1	加 藤 茜
	〃	米子市立福米中学校	2	皆 川 育 子
	県 教 育 長 賞	郡家町立中央中学校	2	清 水 奈緒子
	〃	鹿野町立鹿野中学校	3	岡 本 かおり
	県緑推理事長賞	米子市立福米中学校	3	山 内 洋 子
	〃	北条町立北条中学校	1	池 上 淳 哉

国土緑化推進機構理事長賞を受賞

米子市立福米中学校（2年）皆川育子さんは、全国総数75,500点の中から入選されました。

県の「緑の募金」等広報紙に活用させていただいています。

国土緑化推進機構会長賞を受賞

平成12年8月30日東京都内で開催された、国土緑化運動50周年記念式典において、鳥取三洋電機株式会社は国土緑化運動に多大の貢献のあった者として、国土緑化推進機構会長賞を受賞されました。

当社は、毎年度の“緑の募金”運動に多大の協力をいただくとともに、“1人1株植樹”運動等環境緑化に積極的に取り組んでおられます。

グリーンカレッジの受講

ボランティア活動の多様化に対応して、活動推進の中核となる森林ボランティアリーダーの育成を図るため、毎年度実施されていますが、今回、平成12年8月4日から8日、静岡県富士山麓山の村で実施され、杉の雫・吟醸の会尾崎繁さんが参加されました。

新任事務局担当者



吉次 信策



森原 和美

平成12年4月1日付で当委員会の事務局を担当することになりました。

御指導、御鞭撻を賜りますようお願いいたします。

話題の提供

関係の皆様には、各支部・各地域での緑化の推進に多大の御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。日頃の緑化活動に関連した行事や話題等を緑推だよりに掲載したいと存じますので、提供いただきますようお願いいたします。